



# 冬期道路交通の確保のあり方に関する 検討委員会

青森市

平成24年11月5日

# 青森市の位置・概要

- 平成17年 4月1日 新青森市スタート
- 平成18年10月1日 中核市へ移行
- 人 口 299,429人(平成22年国勢調査値)
- 世帯数 119,317世帯( 同 上 )
- 地 勢 面積約825km<sup>2</sup>  
陸奥湾と東岳・八甲田連峰  
梵珠山など自然に  
擁かれた都市
- 産 業 商業・流通業等  
3次産業(就業者の約8割)  
に特化した都市



# 青森市の宝物



- 日本一おいしい水道水
- カシス(黒房スグリ)の生産量は全国1位
- りんごの生産量は全国トップクラス
- 国特別史跡三内丸山遺跡や青森ねぶた祭等  
多くの資源



# 青森市の気象

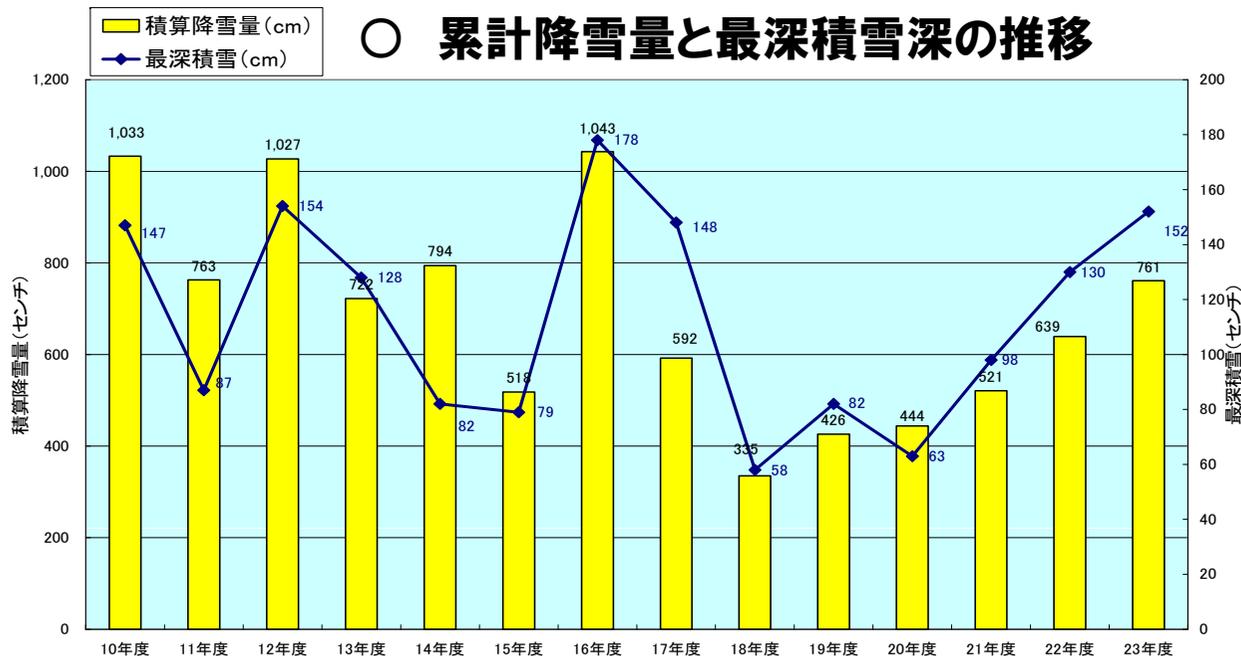
- 「特別豪雪地帯」の指定、人口30万人  
規模としては、世界有数の多雪都市
- 県庁所在都市では唯一、行政区域全域が  
「特別豪雪地帯」に指定
- 累計降雪量 約607cm
- 最深積雪深 約107cm ※ 過去10年平均値



○ 冬季の著しい交通障害



○ 雪の重みで倒壊した家屋



# 青森市内の道路状況（冬期以外）



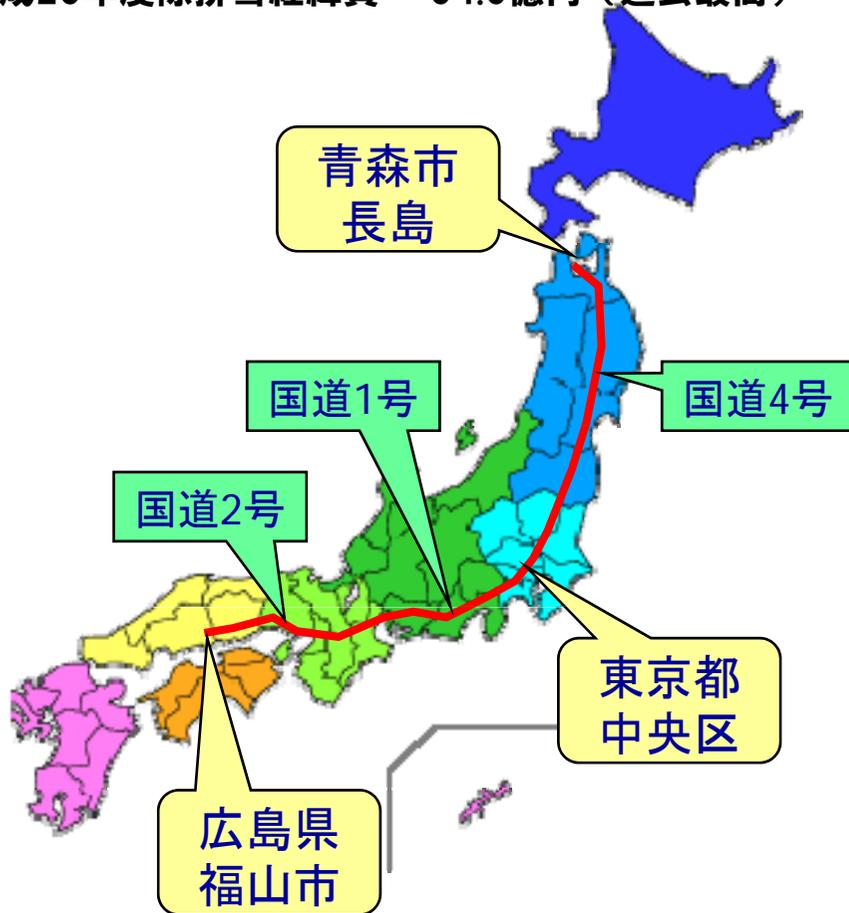
# 青森市の道路状況（冬期）



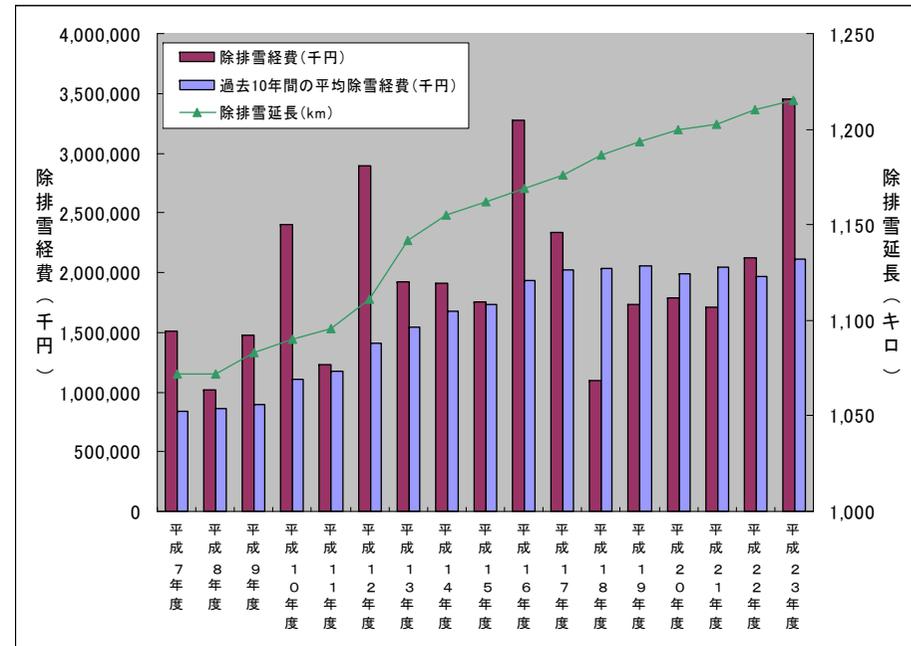
# 青森市の除排雪①

## 【市街地の拡大と雪による負荷】

- 青森市除排雪実施延長  
 車道約1,352km、歩道175km（平成23年度）  
 ※青森市から福山市あたりまでの国道延長に相当
- 市道の除排雪経費 18.9億円（過去10年平均）
- 平成23年度除排雪経緯費 34.5億円（過去最高）



## ○除排雪経費と除雪延長



生活道路の除排雪

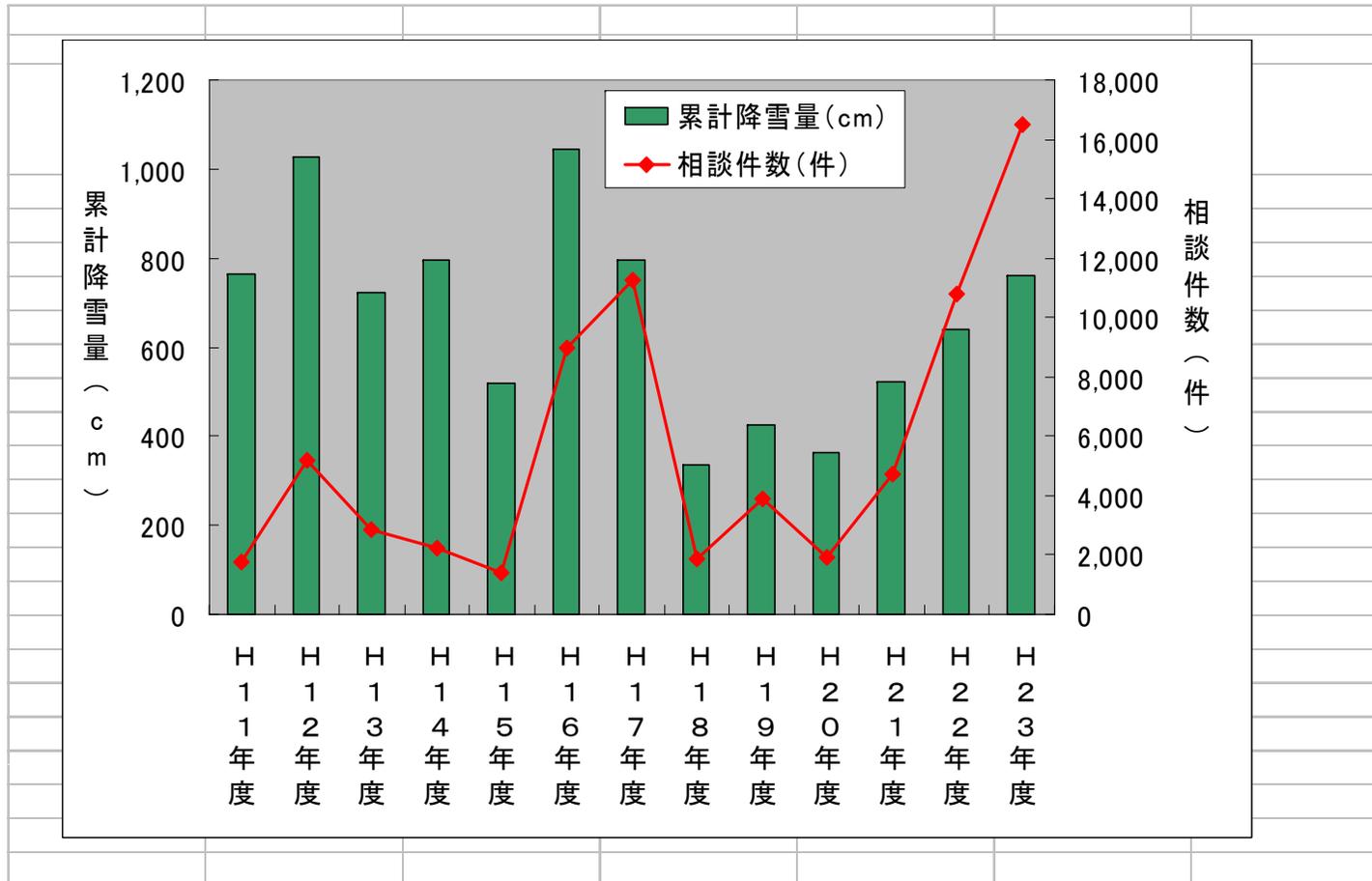


幹線道路の除排雪

# 青森市の除排雪②

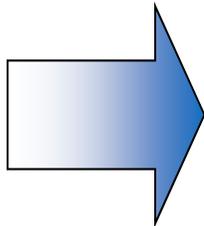
## 【降雪量と相談の件数】

- 累計降雪量が多い年には相談件数は10,000以上になる。
- 近年、相談件数が増加傾向にあり、市民の除排雪体制への不満が見受けられる。
- 平成23年度は、約16,500件の相談があった。



# 青森市除排雪事業の見直し

抜本的な除排雪体制の見直し



除排雪体制 **11** の方向性

(1) 雪に関する連絡会議

(2) 除排雪対策本部体制のあり方

(3) パトロール内容の見直し

(4) 契約方式の見直し

(5) 業者支援

(6) 業者の雪捨て場の拡充と  
排雪ルート確保

(7) 歩道・通学路・バス停周りの  
除雪の充実

(8) 高齢者等への支援

(9) 除排雪作業の安全管理

(10) 恒久的な雪処理施設

(11) 空き家・落雪対策

効果的・効率的な除排雪体制の構築

# 青森市市民とともに進める雪処理に関する条例

行政・市民・事業者それぞれの責務や遵守事項、勧告について明記。

## 3者のパートナーシップ

【市】

【市民】

【事業者】

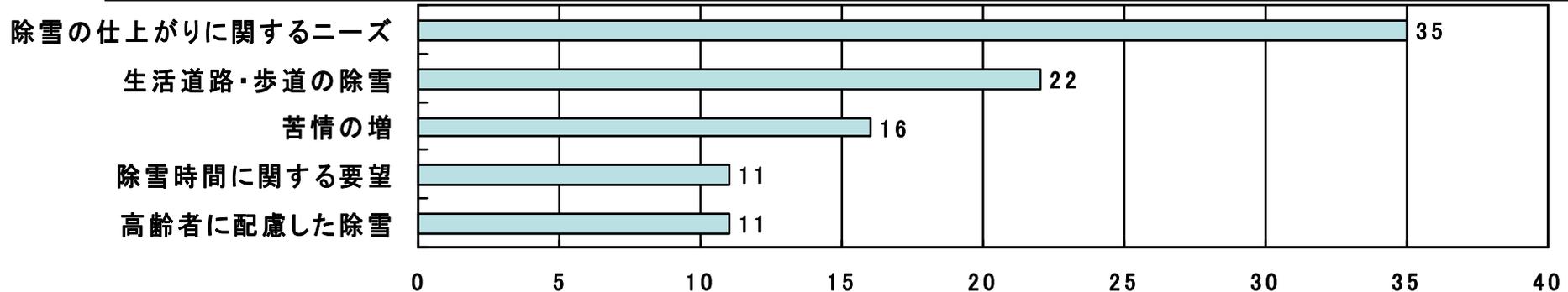


# 雪対策連絡協議会 会員市町村へのアンケート結果

全国雪対策連絡協議会にて、会員(223市町村)に対し本年10月に除排雪に関するアンケート調査を行った。  
10月31日までに回答のあった110市町村の意見を取りまとめたもの。  
※アンケートは選択式ではなく記述式で行っており、各意見等の合計は回答のあった市町村数とは一致しません

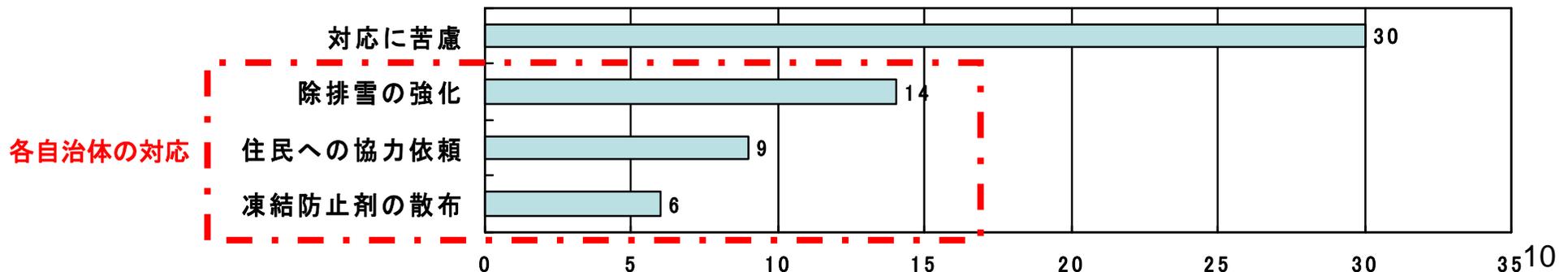
## 質問①：車社会の進展に伴う住民ニーズの傾向について

○ 地域、市民の除雪ニーズはこの地域も高く、除雪要望の内容も多様化している



## 質問②：【ニーズへの対応】住民のニーズの変化に伴う行政の対応について

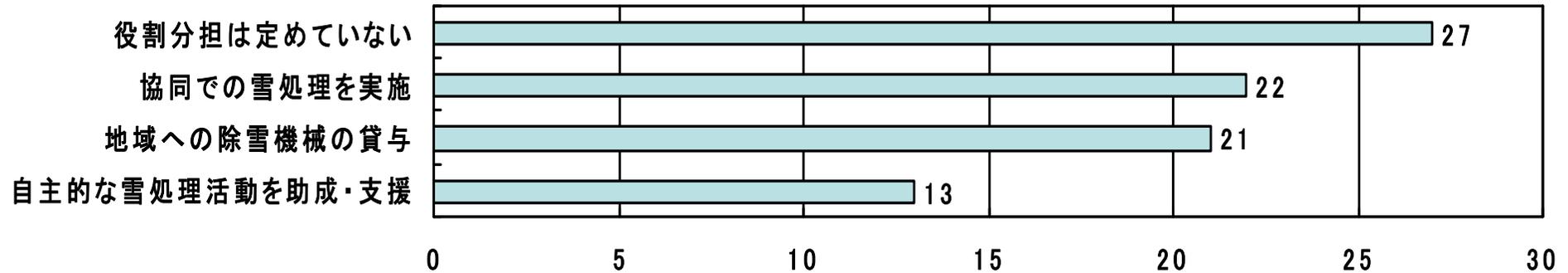
- どの市町村も対応に苦慮している
- その一方で、市民等への協力を求めて連携して取り組んでいるところもある



# 雪対策連絡協議会 会員市町村へのアンケート結果

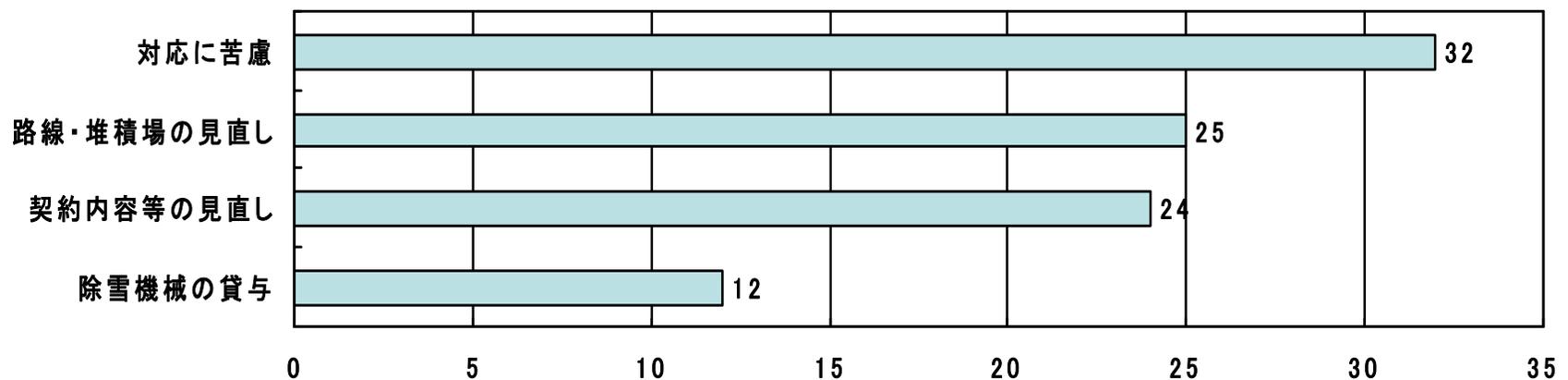
## 質問③：【役割分担】行政・地域・個人の役割分担の状況について

- 役割分担を定めていない市町村がある一方で、協同で雪処理に取り組んでいる市町村もある
- 行政への依存が課題となっている



## 質問④：【除排雪経費】コスト縮減策について

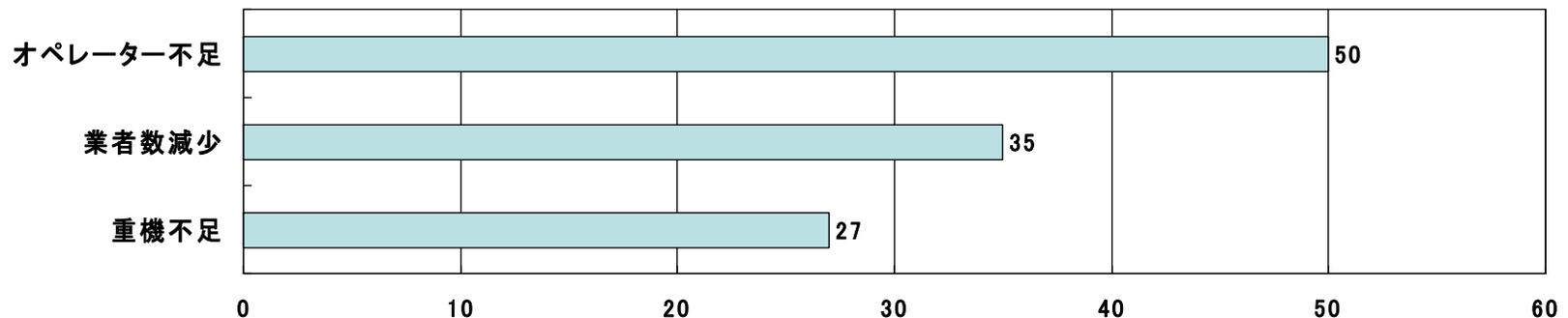
- 除排雪経費について、効果的なコスト縮減策が打ち出せていない状況



# 雪対策連絡協議会 会員市町村へのアンケート結果

## 質問⑤：【除雪の担い手・機械の確保】除雪の担い手・機械の確保について

○ 機械維持費及び購入費の困窮、建設業者（及びその機械）の減少が地域の課題となっている



## 質問⑥：【除雪の担い手・機械の確保】除雪機械の確保に関する取組みについて

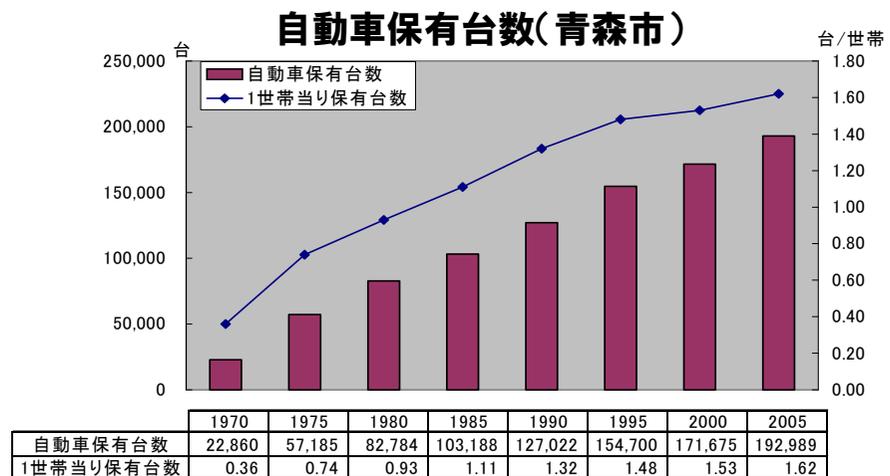
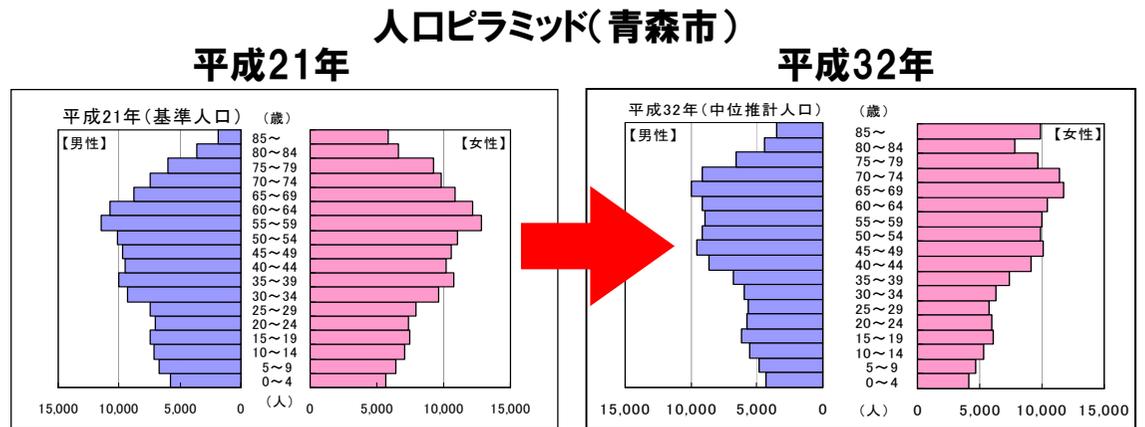
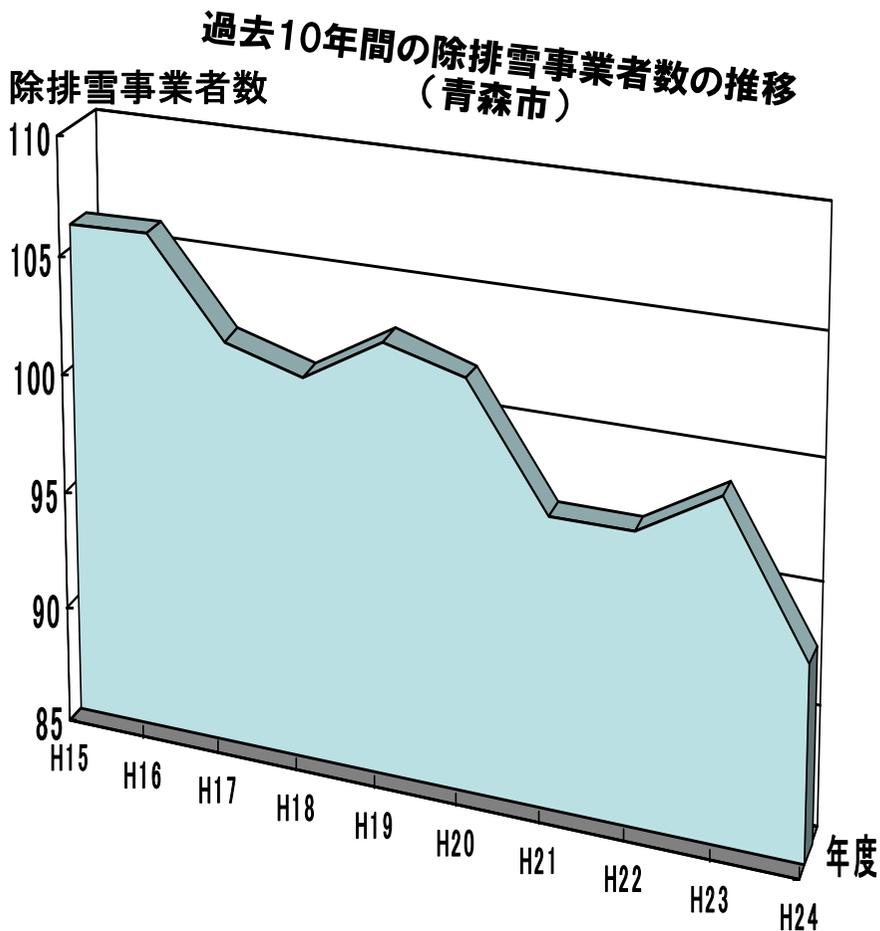
○ 市町村によっては、建設業者へ経費の一部を支援するなどして対応している  
・経費の一部支援 9市町村

## 質問⑦：【その他】除排雪全般に関する、問題意識、課題について

- 高齢化による地域の除雪力が低下 ⇒ 10市町村
- 除雪業者・除雪機械の確保 ⇒ 8市町村
- 行政と地域の連携強化 ⇒ 8市町村
- 住民ニーズの増加 ⇒ 5市町村

# 問題意識①～今後の雪対策～

- 事業者の減少、高齢者率の増加、車（自家用車）への依存、財政環境の変化等にどのように対応すべきか
- 中長期的な視点で雪対策の検討が必要



	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005
自動車保有台数	22,860	57,185	82,784	103,188	127,022	154,700	171,675	192,989
1世帯当り保有台数	0.36	0.74	0.93	1.11	1.32	1.48	1.53	1.62

資料：青森運輸支局

# 問題意識②～冬期重要路線の見直しの必要性～

新幹線新青森駅開業や三内丸山遺跡などの観光スポットへのルートとしての新しい道路や区画整理事業に伴うショッピングセンターの開業などで、交通の流れが大きく変わった。



- 都市計画道路3・1・1号新青森駅大通り線  
平成22年12月供用  
日交通量 約7,400台 (H17交通センサスより推計)
- 都市計画道路3・2・2号内環状線  
平成23年11月供用  
日交通量 約14,400台 (H23年度実測値)
- 都市計画道路3・4・15号三内丸山線  
平成20年11月供用  
日交通量 約6,750台 (H21年度実測値)
- 都市計画道路3・4・26号石江高間線  
平成22年12月供用  
日交通量 約7,500台 (H17交通センサスより推計)
- 市道新青森駅南通り線  
平成22年12月供用 (バス路線)

- ショッピングセンター
  - ・平成12年6月オープン
  - ・大型店舗 7店
  - ・店舗面積 21,661㎡
- 県立美術館
  - ・平成18年7月開館
  - ・H23年度入館者数 33,866人
- 三内丸山遺跡
  - ・平成12年11月には国特別史跡に指定
  - ・平成20年度入場者数 312,964人

— 冬期重要路線(雪寒指定路線) — 見直し必要路線の例

# 問題意識②～冬期重要路線の見直しの必要性～

区画整理事業に伴うショッピングセンターの開業や市場への交通量が増え、新たな交通の流れが発生した。



- 都市計画道路3・2・2号内環状線  
平成12年 3月供用  
日交通量 約9,600台(H17交通センサスより推計)
- 都市計画道路3・3・11号浦町浜田線  
平成16年11月供用  
日交通量 約6,400台(H17交通センサスより推計)
- 都市計画道路3・3・12号浜田大野線  
平成16年11月供用  
日交通量 約8,700台(H17交通センサスより推計)
- 市道卸売り団地1号線外  
昭和59年供用  
日交通量 約2,800台(H17交通センサスより推計)

- |  |  |
|--|--|
| <p>ショッピングセンター①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年4月オープン</li> <li>・大型店舗 A棟～D棟</li> <li>・店舗面積 7,956㎡</li> </ul> | <p>ショッピングセンター②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成12年10月オープン</li> <li>・大型店舗 スーパーマーケット</li> <li>・店舗面積 20,260㎡</li> </ul> |
|--|--|

— 冬期重要路線(雪寒指定路線) — 見直し必要路線の例